

まつさか市議会だより

vol.68

2018.1.1

みてんか!

マジメで
面白くない
報告ですが……

迎春

新年あけましておめでとうございます。
「みてんか」となって3年目を迎えます。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

松阪市議会議員一同





中川小学校3年生 児童 118 人 松阪市議会見学

Q1

時計の針はなぜ金色？
A お客さん（傍聴者）の席から見やすいように。

Q2

一日何人くらい利用する？
A 議会中は議員28人。市長はじめ市職員が通常22人です。
※市役所の利用は一日1,000人以上です。

Q3

なぜ旗があるの？
A 2年前から国旗と市章を置いています。

Q4

なぜテレビがあるの？
A 議場には4台のカメラがあり、議会の様子を撮影してそれをケーブルテレビで市民の皆さんに放映しています。
議会中もそれを放映しますが、その様子がすぐ見れるようになっています。

Q5

四角い掲示板は何？
A 前と後ろにあるタイマーで電光掲示板になっています。質問時間が限られているので、そのタイマーを見ながら質問と答えをその制限時間内に納めています。

Q6

議員の席はどんな順番？
A 年齢順と当選回数で決まっています。

Q7

名札が立っているのと寝ているものの違いは？
A 出欠簿の意味がある。立っていると出席、寝ていると欠席です。

Q8

部屋の階は意味があるの？
A 市民の方の利用の多い部署が下の階になっています。
※議会棟は市役所の2階になります。

感想

- 1、すごくいっぱい席があった。
- 2、椅子がふかふかで良かった。
- 3、もう一回あの席へ行きたい。(議長席)

【議場の見学のご案内】

松阪市議会では議会開催中を除き、議場などの見学も随時受け付けています。学校や団体の方の議場見学をお待ちしています。議場で色々な質問や意見を聞かせてください。問い合わせは議会事務局まで。



松阪商工会議所女性会 広報広聴委員会との意見交換会

と き：平成29年11月10日（金） 午後1時30分～
ところ：松阪商工会議所 特別会議室

【議題（テーマ）】

- ① 松阪市の今後のビジョン（将来像）について
（まちの魅力創造について）
a. 松阪駅前の開発について
b. 観光産業への支援施策
- ② 子育て支援について
- ③ 女性の社会進出について
- ④ 地域産業の活性化、産業支援について
- ⑤ 地域防災・交通安全対策について



▲あいさつをされる中村久仁子
松阪商工会議所女性会会長

広報広聴委員会としては、初の試みとなる意見交換会を行いました。今回の意見交換会は、松阪商工会議所女性会からの要望があり開催されました。女性会から5つの議題（テーマ）に対する質問があり、広報広聴委員会の委員が回答。活発な議論が展開されました。最後、中村会長からは、今後も意見交換会の場を持ちたいとの発言がありました。市議会としても、今後もさまざまな団体との意見交換会を開催していきたいと思ひます。

決算 審査

9月定例会は、9月4日(月)から10月17日(火)までの会期44日間の日程で開催しました。

9月定例会の前半は決算審議(審査)が行われ、一般会計と9つの特別会計及び水道、下水道市民病院の3つの企業会計の平成28年度決算認定が主な議題でした。

9月4日に議案上程を行い、議長、監査委員を除く26人で決算調査特別委員会を構成し、7日に本会議での質疑、8日に総務企画、11日に環境福祉、13日に建設水道、14日に文教経済の4つの分科会をそれぞれ行いました。21日に決算調査特別委員会で分科会長報告、討論、採決、26日の本会議で認定、不認定の採決を行いました。

総務企画分科会

▶ホームページリニューアルのアンケート結果

問 ホームページリニューアルについて、誰もが情報を見つけやすく、わかりやすいように再構築したとあるが、ページごとにある見つけやすさ等のアンケート結果は、どうなっているのか。

答 「このページは見つけやすかったか」の問いに対し、「見つけやすかった」が全体の54.3%であった。

▶田舎暮らし推進事業

問 田舎暮らし推進事業について、どれほどの人が移住したのか。

答 飯南管内で3件4人、飯高管内で6件11人が移住され、うち2件が空き家改修事業補助金を活用した。

▶災害備蓄用フリーズドライご飯の目標備蓄数

問 災害備蓄用フリーズドライご飯は、平成28年度末で5万4,000食とのことであるが、目標数値は。

答 平成26年3月の三重県の南海トラフにおける松阪市の被害想定3万2,000人を受けて、1日3食の9万6,000食を平成31年度末までに備蓄できるよう、年次計画を進めているが、県の指針では、1日目、2日目あわせて5食、計16万食の備蓄を推進していることから、公的備蓄のあり方を検討していきたい。

▶分科会の主な意見

- ・ ホームページリニューアルについて「内容がわかりやすかったか」の問いに対し、「どちらとも言えない、わかりにくかった」が51.9%あったことも含め、わかりやすいホームページとして再構築できたのかどうかという観点については、疑問が生じる。
- ・ 田舎暮らし推進事業について、9件15人(飯南管内で3件4人、飯高管内で6件11人)ということで、改修はそのうち2件あった。(引き続き田舎暮らしが充実していただきたい。)



▶交通安全啓発事業

- 問** 前年と比べて事故発生件数減少の成果があったか。
- 答** 事故負傷者数205人、死者数1人減少していることから成果があったと考える。
- 問** 啓発以外の活動は。
- 答** 新規に高齢者向けパンフレット配布と松阪茶ペットボトルに広告掲載をおこなった。また、中学生対象に模擬的な事故を再現するスクエアドストレートという交通安全啓発教育にも取り組んでいる。



▶自殺対策強化事業

- 問** 自殺は防げることのできる死であるが、自殺対策強化として市としての取り組みは。
- 答** 毎年9月3月2回の合同相談会以外に、弁護士相談、特設人権相談等おこなっている。常設として市役所12課での相談窓口や、自殺対策連絡協議会も設けてある。

▶保育園管理運営事業

- 問** 公立保育園における賃金の不用額が1億1,639万8,400円となったが、本来何人の保育士が必要で、正規職員は何人雇用できているのか。
- 答** 非常勤保育士を当初予算の見込み数ほど雇い入れることができず不用額となった。必要とする保育士数は311人、このうち正規の保育士を173人、正規率でいうと55.6%になり、必要とする保育士は確保できている。
- 問** 保育士募集の取り組みは。
- 答** 広報およびホームページに掲載したり、ハローワークに登録して雇用の確保に努めている。

▶母子保健相談支援事業

- 問** 母子保健コーディネーターが様々な相談対応を行っているが取り組みの状況は。
- 答** 今年度母子保健コーディネーター2人増員し、保健師等の専門職が、すべての妊産婦等の状況を継続的に把握し、必要な関係機関と協力し支援計画を作成することで、支援が必要な場合に依りて相談助言を行っている。

▶生活困窮自立支援相談事業

- 問** 新規相談受付が348件もあったのに対して、プラン作成が53件、就労支援が18件という実績はプラン作成が非常に少ないのではないのか。
- 答** 新規相談受付件数が多い割にはプラン作成件数が少ないので、委託先の社会福祉協議会の松阪市生活相談支援センターと協議してもっと自立支援計画を増やさなくてはいけないと思う。

▶福祉会館管理運営事業

- 問** 社会福祉会館の意義は。
- 答** 社会福祉に奉仕しようとする団体等の活動や研究のための会場を提供する場のため、各種福祉団体関係、ボランティア関係などが多く利用している。平成31年4月に移転計画があり、いろいろ検討している。
- 問** 社会福祉協議会職員の人件費は全て市からか。
- 答** 公益補助収益に従事する職員以外の職員に算定している。
- 問** 社会福祉協議会は市役所近くに必要か。
- 答** 500件近くの貸付事業があり、「生活困窮者自立支援法」に基づく生活困窮者の相談事業など市の福祉行政と近くで連携を取って取り組みたいと思っている。
- 問** 市役所の1階に窓口を設けてあるのか。
- 答** 社会福祉協議会に委託して、平成27年に「生活相談支援センター」を創設（市役所1階）し、市役所関係課と直接相談できるように配置した。現在はこの配置が妥当だと判断している。



▲社会福祉会館（殿町）

▶分科会の主な意見

- 市役所全体が相談窓口として対応することが大切。そのためにも市職員のメンタルパートナー養成研修受講率向上となるよう取り組んでいただきたい。



▶道路事故対策緊急整備事業

問 施工箇所は。また視認性が高まったとの評価であるが、何を根拠としたのか。

答 平成27年度末に交通死亡事故が連続して発生したことから、新規事業として幹線道路や事故多発地域に、白線引き直しや注意喚起文字表示を全延長1万7,788m実施した。

評価については、27年度と比較し交通死亡事故が1件、人身事故が147件、物損事故が137件減っている。これらがすべて白線の引き直しにより減少したと判断するわけではないが、運転手のスムーズな走行や歩行者の安全を図れたのではないかと考える。



▶「豪商のまち松阪」中心市街地土地利用計画作成事業

問 福祉会館・松阪公民館の移転について、利用者への説明と合意形成の認識は。

答 福祉会館の市役所機能との連携による市役所近辺への必要性や、松阪公民館の駐車スペース不足の問題等を踏まえ、関係部局が協議を進め12月5日に説明会を行った。1回だけで全ての合意形成が図られるとは考えていなかったが、この段階で大きな異論がなかったことと、関係部局からの今後きめ細やかな説明も行っていくとの報告をもって、素案にしたところである。

問 検討委員会をなぜ非公開にしたのか。

答 計画内に民間の土地もあり、事前に調整することなく協議が進んでいく過程で市民に混乱を招く恐れがあることから、1回目の委員会で諮り非公開とした。



▶住宅費

問 住宅使用料の滞納状況の実績は。また、法的措置を講じたのはどの程度か。

答 現年度収納率は、98.08%（+4.5%）、現年度収入未済額は81人、311万309円（235カ月分）。過年度を含めた収納率は62.73%（+3.31%）、収入未済額は230人、9,073万444円（6,980カ月分）である。

法的措置については、9件の訴訟の提起と5件の建物明け渡し強制執行を行った。

▶水道事業

問 料金の滞納額が増えた場合の対応は。

答 徴収員が訪問し納付促進に当たっているが、無断転居や納付相談に応じなかったなどで、やむを得ないと判断した場合は給水停止措置をとっている。（28年度：492件）

問 経営状況の中で、一番負担になっているのが県への受水費と考えるが、この構造的な問題をどう捉えているのか。

答 受水費は給水収益の約35%を占めている。年々、給水人口・水道使用量も減少する中で、受水費の水道料金へのはね返りは当然懸念される。今後、県との協議等に臨む中で意識を持って対応していく。

問 基幹管路の耐震化対策は。

答 平成23年度から工事を始め、29.4%の耐震適合率となる。年間の進捗率は1%程度である。

▶公共下水道事業

問 公共下水道事業会計だけが赤字になっていることに対する評価は。

答 計画的に施行はしているものの、現在の普及率は53.7%で低い状況にある。下水道事業は初期投資額が巨額であり、それによる固定資産の減価償却費が大きいために、下水道使用料収入と一般会計からの繰入金を受け運営に努めてはいるが、平成28年度も損失が生じた。

問 三雲管内の受益者負担金の制度改正の周知動向は。スムーズに移行したのか。

答 議決後、各戸に個別説明会のチラシ配布、広報に賦課方式変更の内容を掲載。10月末に個別相談会を実施した。これ以降、特に意見はもらっていない。整備する年度や地域をしっかりと説明し地域の方の協力も得ている。

▶分科会の主な意見

- ・ 住宅使用料において予算を上回る収入済額になったことを評価する。



▶ 潜在専門職トレーニング事業

問 潜在看護師復職支援研修会・潜在介護士-研修会の参加数からみる復職数はどう評価しているのか。

答 復職者は少数であるが、事業を継続することで一定の成果が出ていると捉えている。

問 参加者が復職に至らなかった理由と過去の復職者の現状は。

答 仕事と育児の両立が難しいという理由等である。年2 回程度のアンケートによる追跡調査を実施し、現状把握に努めている。

▶ 地域公共交通システム事業

問 地域住民とは、コミュニティバスの運行についてどのように検討しているのか。

答 地域の検討会議に、出向いて協議を行っている。

問 現在、バス路線がない地区の要望への対処は。

答 住民協議会の中で要望があれば、出向いて声を聞き、反映していく体制をとっている。



▶ 有害鳥獣捕獲補助金等の有害鳥獣対策3 事業

問 受託者である猟友会の会員数と活動実績は。

答 延べ1,596 人の会員により1 回2,000 円で活動していただいている。

問 有害鳥獣被害は、減少しているのか。

答 被害額として27 年度、3,328 万4,000 円、平成28 年度は、2,863 万7,000 円で464 万7,000 円の軽減につながった。

▶ 放課後児童クラブ活動事業

問 放課後児童クラブの運営のあり方について、36 校区の内、4 校区に設置が無い理由は。

答 未設置は、射和・伊勢寺・第二・香肌の4 校区。地域からの要望がなく、校区に設置されていないところは、民間施設を利用いただいている。

問 保護者からクラブ役員の役割分担が多いため、運営が大変との声はないか。

答 松阪市放課後児童クラブ連絡協議会と協議の場を持ち、各クラブの実情の改善に取り組んでいる。

▶ 公民館管理運営事業

問 松阪公民館利用者に事前の説明がなかったことに問題はなかったのか。

答 今回の土地利用計画は、民地を含む公共施設配置で、非公開となっていたこともあるが、松阪公民館や福祉会館など全体の施設を調整して策定する総合的なまちづくり計画であり、事前の説明は難しかった。



▲松阪公民館（殿町）

▶ 分科会の主な意見

- ・ 障がい者フォーラムの企業参加について、一層の取り組みを強化してほしい。
- ・ 茶防霜ファン改修をきっちり進めてほしい。
- ・ 森林環境創造事業費を国や県にも要請し予算を確保していただきたい。
- ・ まつさか交流物産館の年末年始の営業を検討してほしい。
- ・ 地域公共交通システムの運行地区対象外の利用者や、高齢者の声を漏らさない仕組みを作り上げてほしい。
- ・ 中部台テニスコートの修繕箇所でボールがイレギュラーして危ないとの声もあるので、修繕依頼する際は、事前に業者への報告をしっかりと行ってほしい。



9月定例会 議決結果一覧表

全会一致で認定、可決、賛成、採択された案件

議案番号	案 件
議 案 第 92 号	平成 28 年度松阪市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議 案 第 94 号	平成 28 年度松阪市公共下水道事業決算の認定について
議 案 第 95 号	平成 28 年度松阪市松阪市民病院事業決算の認定について
議 案 第 96 号	平成 29 年度松阪市一般会計補正予算（第 2 号）
議 案 第 97 号	平成 29 年度松阪市競輪事業特別会計補正予算（第 1 号）
議 案 第 98 号	平成 29 年度松阪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
議 案 第 99 号	平成 29 年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）
議 案 第 100 号	松阪市産業振興センター条例の一部改正について
議 案 第 101 号	工事請負契約の締結について（観光交流拠点施設本館新築工事）
議 案 第 102 号	財産の取得について（松阪市総合運動公園用地）
議 案 第 103 号	市道路線の認定について
議 案 第 104 号	市道路線の変更について
議 案 第 105 号	平成 29 年度松阪市一般会計補正予算（第 3 号）
議 案 第 106 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議 案 第 107 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議 案 第 108 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議 案 第 109 号	人権擁護委員候補者の推薦について
発 議 第 5 号	松阪市議会特別委員会の設置について
選 挙 第 12 号	松阪市議会特別委員会の委員選任について

表決が分かれた案件

議案番号	案 件	審 議 結 果
議案第 91 号	平成 28 年度松阪市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認定
議案第 93 号	平成 28 年度松阪市水道事業決算の認定について	賛成多数 認定
発 議 第 6 号	全国森林環境税の創設に関する意見書について	賛成多数 可決
発 議 第 7 号	道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書について	賛成多数 可決
発 議 第 8 号	義務教育費国庫負担制度の存続とさらなる充実を求める意見書について	賛成多数 可決
発 議 第 9 号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書について	賛成多数 可決
発議第 10 号	子供の貧困対策の推進と就学・修学支援にかかわる制度の拡充を求める意見書について	賛成多数 可決
発議第 11 号	防災対策の見直しを初めとした総合的な学校安全対策の充実を求める意見書について	賛成多数 可決
請 願 第 4 号	義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める請願書	賛成多数 採択
請 願 第 5 号	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書	賛成多数 採択
請 願 第 6 号	子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める請願書	賛成多数 採択
請 願 第 8 号	防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求める請願書	賛成多数 採択

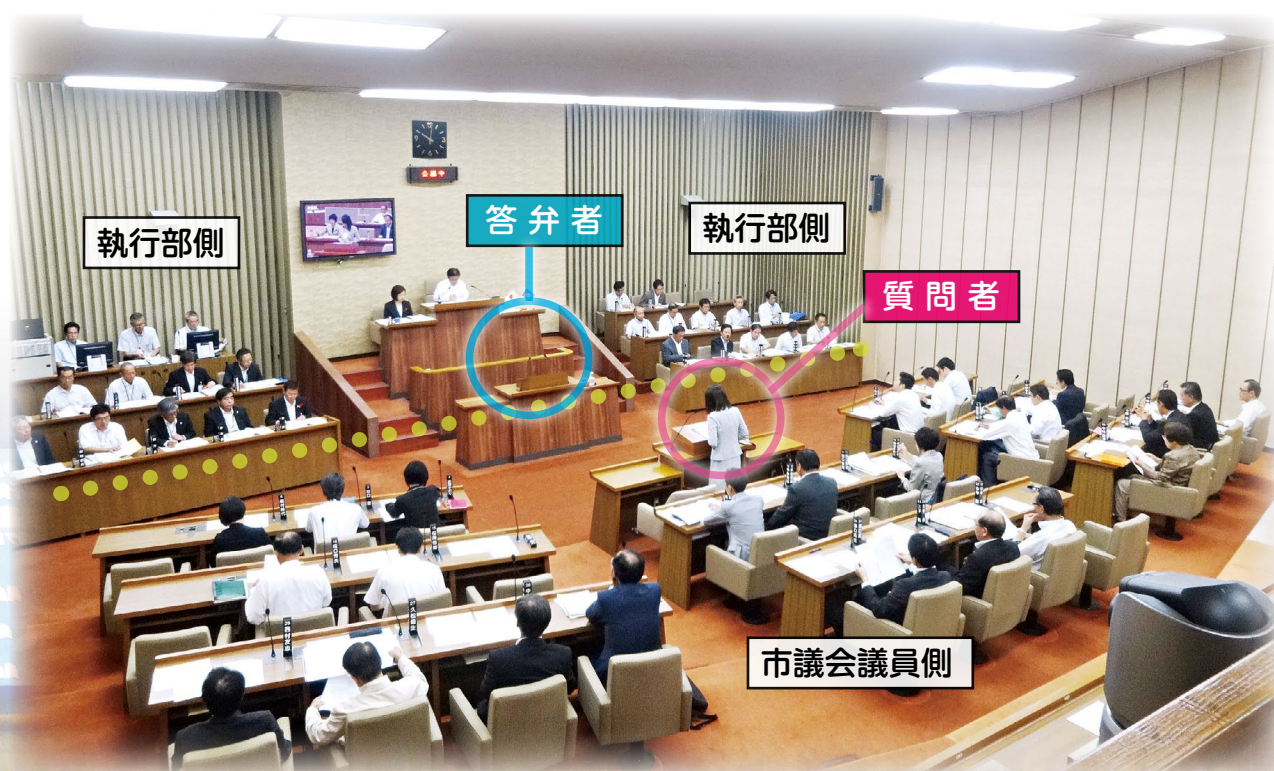
	真 政 ク ラ ブ								政 志 会								グ ル ー プ 単				公 明 党		日本共産党			市民クラブ			
	赤塚 かおり	坂口 秀夫	植松 泰之	堀端 脩	野呂 一男	中村 良子	山本 芳敬	大平 勇	中村 誠	松本 一孝	谷口 聖	市野 幸男	米倉 芳周	沖 和哉	濱口 高志	田中 正浩	西口 真理	深田 龍	海住 恒幸	松岡 恒雄	山本 節	西村 友志	殿村 峰代	栗谷建 一郎	久松 倫生	橘 大介	楠谷さ ゆり	中島 清晴	
議案第 91 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
議案第 93 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
発議第 6 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
発議第 7 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
発議第 8 号	○	○	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 9 号	○	○	×	○	○	○	－	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 10 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第 11 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
請願第 4 号	○	○	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 5 号	○	○	×	○	○	○	－	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 6 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 8 号	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 山本芳敬は採決に加わりません。○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員、欠は欠席。

一般質問

議員が市の行政全般にわたって、市長・教育長の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。今定例会では14人が質問しました。

一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。



▲10月2日(本会議)の様子

一般質問スケジュール

と き	登壇者(質問順)					
10月3日(火)	① 堀端 脩 ④ 久松 倫生	② 野呂 一男 ⑤ 沖 和哉	③ 米倉 芳周 ⑥ 西口 真理			
10月5日(木)	① 深田 龍 ④ 橘 大介	② 海住 恒幸 ⑤ 栗谷建一郎	③ 楠谷さゆり ⑥ 濱口 高志			
10月10日(火)	① 殿村 峰代	② 松岡 恒雄				

質問時間は、1人50分。(答弁時間を含む)

◎統括、一問一答、分割のいずれかを選択して行います。

真政クラブ
ほりぼた おさむ
堀端 脩 議員



真政クラブ
のろ かずお
野呂 一男 議員



弾道ミサイルに対する松阪市の 防災訓練の予定について

Q 北朝鮮よりミサイルが発射された。松阪市の対応は。

A 国の役割そのもので特に訓練等の実施は考えていない。

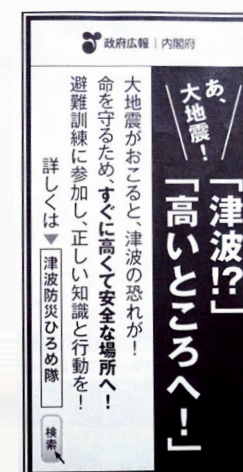
意見 北朝鮮の情勢は逼迫している中で、鈴木三重県知事は、津市の榊原小学校の訓練で課題を県民に伝え万全の体制を取っていくとコメントしていた。

沿岸部で夜間巨大地震発生時の 津波避難行動対策について

Q 私も提案させて頂いた防災パンフレットがようやくできあがりでしたが、ただ1点だけ譲れないところがある。それは日本気象協会が示している津波から避難する時は、遠くより高くが一番で、市はこれと違う提示をしている、この様な基本原則を変更されたのは誰の判断で、いかなる理由か。

A 先ほど言われた高くという部分にも注視をして、検討会のほうを進めたいと思っている。

意見 答えになっていません。



▲内閣府も、津波から命を守るためには、「高いところへ!」と言っている。

猛毒を持つ「夾竹桃」について

Q 人命にかかわる植物「夾竹桃」の樹液は青酸カリの50倍に相当する毒性を持ち、町なかの道端などにみかけるが、早急な安全対策は。

A 日常的に接している植物「夾竹桃」に猛毒があると言うだけで、啓発していくのではなく、慎重に対応をしていく必要があると考えている。

学力向上について

Q 平成29年度の松阪市の小中学校の全国学力調査の結果では、小学生は全国平均の高い成績になっているが中学校では大きな課題となった。教育委員会の今後の考えは。

A 松阪市学力向上推進協議会で議論してPDCAのサイクルを生かした学力向上の取り組みを進めていく。

Q 学力向上の推進に向けて、今後どのように進めていくのか。

A 子どもたちひとりひとりが将来、地域の中で輝ける姿が希望である。教育委員会として地域の未来を担う子どもたちを学校、家庭、地域、行政が一体となって本居宣長さんの教え、5つのチャレンジの具現化に向けてしっかりと取り組んでいきたい。

用語解説 PDCAサイクル
1.Plan(計画) 2.Do(実行) 3.Check(評価) 4.Act(改善) 4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する。



飯南・飯高中山間地域の振興施策について

Q 中山間地域の考え方と市政の位置づけは。

A 中山間地域の振興を基本計画の柱とする。平成28年度から過疎地域自立促進計画を策定し、事業を展開している。事業を充実するため「過疎地域の活性化を考える会」を10月に立ち上げ、交流人口の増加、地場産業の振興、移住者促進等を進める。

また、松阪西部商工会を来年4月より松阪香肌商工会に改称し、地域ブランドづくりの実現と地域商社の創出に取り組む。

Q 観光活性化のためにも、宮ノ谷溪谷の整備を。

A 本年度に調査を行い、魅力的な自然を楽しむ遊歩道とするため、改修・修繕を計画する。

Q 飯南高校の活性化について市の取組みは。

A 5月に飯南高校活性化協議会を設置。具体策として飯南・飯高の小中と一体としたコミュニティ・スクールを知事に提案した。

迷惑防止条例について

Q ゴミの問題で、地域のアパートで2年間ゴミが山積みになってミイラ化している。管理会社やオーナーに意見しても改善されない。市としてどのような指導ができるのか。罰則規定なり、条例化ができないか。

A ゴミの適正な排出について、廃棄物の処理及び清掃に関する条例で市民の責務として規定しているが、迷惑につながる行為へは規定していない。今後、行政指導ができる規定を研究する。

用語解説 コミュニティ・スクール 保護者や地域のニーズを反映させるために、地域住民が学校運営に参加できるようにする仕組みや考え方を有する形態の学校のこと。

国民保険の広域化のもと 国保税引き下げを求める

Q 来年度からの国保の広域化の仮算定が出された。松阪市は、一人当たり保険料が7,514円の負担減となる数字が出ている。値下げ可能な状況にあるのではないか。

応能応益の比率を5対5にして負担軽減が図られるのではないか。

A 9月の仮算定では保険税負担水準が下がる見通しに立ったことになる。11月に予定している本算定で予算を組むことで、負担水準が明らかになってくる。



▲9月の仮算定から

松阪公民館移転の再検討について

Q 問題解決に向かっているとは思えない。社会教育という分野をかなりの期間軽視してきた問題はないか。

不行き届きを利用者に押し付けることになっていないか。

A 本意が伝わらなかった反省はある。不利益を受ける方への対策の努力をしたい。

その他の質問事項 ・携帯電話不通話地域の解消について

祈りの場所としての篠田山霊園を

Q 自由墓地内のバケツ置き場等が雑然と散らかり、安らげる霊園ではない。草木の散乱や、公的な場に個人所有物が乱雑な状態はふさわしくない。今後の改善は。

A 利用者の公平性と霊園環境の保全から、全ての自由墓地に保管場所とバケツ等を市が整備することが理想的である。故人を忍ぶ心の安らぎの場として気持ちよく利用できる霊園を目指していきたい。

小さな学校だからこそその良さがある 統廃合ありきではない

Q 松ヶ崎小学校等は小規模校だからこそその良さがある中で、保護者や地域の方は統廃合も含めて不安である。地域コミュニティの核として、存続していけるか。

A 小規模校の良さは、子どもにとって自己肯定していける環境だと考える。学校の適正規模は、生徒数の減少だけで考えず、慎重に議論していきたい。

通学通勤に使える コミュニティバスを！

Q コミュニティバスを新設する場合、地域の需要や課題に応じて通学や通勤に利用したいとすれば、鈴の音バスと重複する路線であっても、柔軟な対応は可能か。

A 実際に早朝バスを運行した事例もあり、地域と十分に協議して検討したい。鈴の音バスも、今後、見直しをしていく。

松阪地区の救急医療体制の現状と 今後について

Q 健康センター「はるる」の休日夜間応急診療所。4月から始まった土曜の深夜帯に出務された25人のうち22人が市民病院の医師。委託された医師会から派遣され、報酬を受け取ってみえるが、副業を禁止する地方公務員法から見て問題はないのか。

A 地方公務員法第38条、営利企業等の従事制限に基づき、市民病院の運営、診療体制への影響、地方公務員法を見据えた上で、あくまで松阪地区医師会の会員として応援診療する事を許可した。

Q 一次救急と二次救急の分化による救急医療体制の確立という基本に逆行するのではないか。二次救急のドクターに頼って疲弊させてどうするのか。365日24時間を目指して充実を図っていくには来年度以降も大丈夫なのか。

A 今後十分協議しながら、持続可能な運営体制の構築を図っていきたい。

Q 現在健康センターと民間クリニック2カ所に委託しているが、委託曜日、診療時間帯も含めて、来年度も同じ方向か。安定した体制のために、複数年契約は。

A 今年の体制を念頭に置いて、複数年契約も含めて考えていく。

意見 地域医療構想によるベッド数削減。医師の確保が困難になって、輪番制を基にした二次救急の崩壊の危機が叫ばれている。市民病院に頼るのではなく、市としてのリーダーシップ、ビジョンを示してほしい。



放課後児童クラブについて

Q 市内6施設に
関して、収容人
数を超えて利用
していること
は、法律的に問
題がないのか。



▲小野江元気っこクラブ
(旧小野江幼稚園)

A 翌年度の入所者に対して小学校1年生
から3年生を優先的に入所していただく
ため、高学年の保護者に配慮を求めるな
ど、こちらからお願いをしている。

Q 小野江元気っこクラブは昭和47年に
建物が建っているが、耐震診断が行われて
いない。不要と判断している理由は何なの
か。

A 平成21年度から小野江元気っこクラブ
が開設することとなり、保育場所というこ
とで探していたが、場所がなかった。一時
的に保育場所として旧小野江幼稚園の園
舎を使用していた。一時的に使用してきた
という中で耐震診断を行わず現在に至っ
てしまった。

Q 大変重要な答弁をいただいた。南海トラ
フ大地震が30年以内に70%の確率で起
きると言われている中で、子どもたちが毎
日を過ごす建物が大きな地震に耐えられ
ない可能性が高いことについて、教育委員
会はどうお考えなのか。

A これまで検討してきたが、活動場所の調
整がつかず、解決策が見出せずに今日に
なってしまった。子どもたちの命と安全安
心という意味においては非常に重要なこ
とと捉えているので、今後も施設の改修や
更新については、早急に検討を進める。

市連協の体制強化で 放課後児童クラブ支援を

Q 放課後児童クラブ連絡協議会(市連協)
を強化することで、クラブの運営だけで
精一杯の保護者の負担の軽減につなげら
れないか。個々の放課後児童クラブの悩
みごとの解決に向けた助言や、指導員の
研修などの活動をする組織にするには、
常勤スタッフをそろえるために財政基盤
の確立が必要。会費を原則としながら研
究会や研修会の開催を行政から業務委託
を受けることでそれを財源とする組織体
制を確立し機能強化を図れば、個々の
放課後児童クラブの力強いサポーターに
なるのではないか。

A いい考えと思うが、任意団体では難し
い。

鈴の音バスを小回り2ルートに

Q 現在、一周約90分かかっている鈴の音
バスを、30分~45分で一周する小さな
循環にし、2つのルートにすれば、地域の
コミュニティバスとの乗り継ぎもしやす
くなるのではないか。

A 一周90分かかると利用者だけでなく
運転手にも大きな負担がかかるという意
見も出ている。改善が必要だと考えてい
る。

松阪市の障害者差別解消条例制定を 提案する

Q 2016年4月に施行された障害者差別
解消法の松阪市での取り組みは。

A 職員の対応に関する要領並びに留意事
項を制定し、職員が対応している。またさ
まざまな機会に啓発を行っている。

Q 職員対応要領の中にある相談窓口につ
いて、窓口への相談は施行以来どのくら
いあったのか。

A 障がい福祉課に1件あった。

Q 窓口の周知ができていないのでは。

A 市ホームページ等で周知している。

Q 合理的配慮の不提供の禁止についての
課題は何か。

A 市として何を持って過重な負担である
かの判断が非常に難しい。また、市民や民
間事業者に対して、さらに理解を深めるた
めの周知啓発が課題である。民間業者につ
いては、差別解消法の対象範囲が幅広く、
求められる配慮の内容や程度も多種多様
で対応は非常に難しい。

Q 三重県では条例制定に向けて動いてい
るが、一番身近な市政の中で条例を作る
考えはあるのか。

A 松阪市人権のまちづくり条例を制定し
ており、新たな条例の制定については考
えていない。

意見 条例化されれば予算もつきやすくな
る。市が障がいのある人と事業者の橋渡し
役をすることで合理的配慮を進める、そん
な条例をわかりやすく市民みんなが知る
ことができるように作っていただきたい。

公共交通システムについて 協賛金の取り組みについて

◆鈴の音バス 協賛金 推移

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
協賛金推移	14,482,000	13,582,000	13,189,000	13,419,000	11,645,405	11,244,508
企業団体金額	13,740,000	12,840,000	12,876,000	13,098,000	11,360,405	10,955,508
数	63	65	65	68	60	68
個人 金額	742,000	742,000	313,000	321,000	285,000	289,000
数	292	475	199	257	203	163

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
協賛金推移	10,602,183	9,400,601	8,803,458	8,320,950	8,331,840	8,138,350
企業団体金額	10,270,000	8,970,000	8,394,568	8,016,000	8,088,140	7,920,000
数	60	57	55	48	49	49
個人 金額	332,183	430,601	408,890	304,950	243,700	218,350
数	233	322	355	253	118	113

Q 鈴の音バスの平成17年、協賛金が
1,448万2,000円。これが、平成28年が
813万8,350円と減少している。現在ど
ういうふうに分析しているのか。

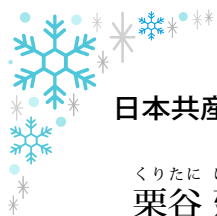
A 厳しい経済情勢を背景として、経費削減
を進める中で、それを捻出するのはなか
なか難しくなっている現状である。

Q 成人で13万3,194人。その中で113
人しか個人が協賛金されていない。

A 一件一件趣旨を御理解いただき、今後も
着実にその数を増やしていきたいと考
えている。

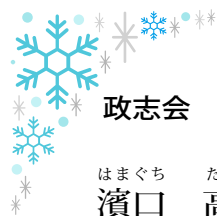
Q 協賛金を改善することが健全なバス運
営ができていると思っている。例えばビラで案
内する、小売業に募金箱を設置してみるな
どそういう措置はないのか。

A 新たな協賛金の取り組みについても今
後しっかりと考えている。



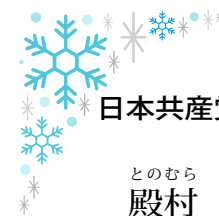
日本共産党

くりたに けんいちろう
栗谷 建一郎 議員



政志会

はまぐち たかし
濱口 高志 議員



日本共産党

とのむら みねよ
殿村 峰代 議員



公明党

まつおか つねお
松岡 恒雄 議員



エアコンの設置について

- Q 子どもたちにとってエアコンの設置は本当に切実な願いである。保護者の方からも「学校に行きだして、あせもができて治らない。」という声も聞いた。市長は、今年度、松阪市立学校教室等環境対策検討委員会を設置し、日本共産党も今井一久前議員がこの場で6回もこの問題を取り上げてきた。全国的には普通教室へのエアコン設置が進み、平成29年4月には49.6%、松阪市では1.36%。それも合併前の嬉野町豊地小学校のみという状況である。意向だけでも市民の皆さんにここで明らかにしていただきたいと思います。
- A 市の最高責任者として申し上げるのは、まだ決まっておらず、今、検討委員会で議論している段階である。

バス路線の拡充について

- Q 近年高齢化が進み、今や公共交通、バス路線の拡充は喫緊の課題となっている。こういう中で交通政策室が廃止されて逆に体制が弱まっている。市として少なくとも政策室を復活させる。さらに強化をしていく考えは。
- A 私たちの交通政策をきちんとやっていく組織体系といったものを今後も続けていきたいと思っている。

入札制度について

- Q 中規模の工事では市内業者に加え、準市内業者も入札に参加できる。地元業者を優先すべきではないか。
- A 競争性が働くような業者数にしている。28年度の準市内業者は、2.4%の受注率であった。
- 意見 塗装、防水では準市内業者の落札比率が高い。また、大きな工事でも市内の下請け業者を使うような制度を検討してほしい。

非常食について

- Q 松阪市では非常食をフリーズドライご飯に変更した。これを一般の人は買えないのか。市役所の売店、ベルファーム、観光物産館等で販売してほしい。
- A 可能だと思うので、確認する。



◀松阪市と業者が共同で開発したフリーズドライご飯

公園の草刈りについて

- Q 宅地造成地で草がぼうぼうになっていて、ヘビが出るとの苦情がある。どのように対処すればいいのか。
- A 市で所有者を調べ、適正な管理をするよう通知する。

子供医療費等窓口無料化の実施について

- Q 三重県や他市町での実施・予定状況は。
- A 平成29年4月時点で全国の8割が実施。三重県は12歳まで申請後振込む償還払い。今年4月から鈴鹿市が3歳まで無料化。来年4月から四日市市、9月から志摩市、時期は明確でないが伊賀市、名張市が未就学児を予定。伊勢市、度会郡4町も同様。
- Q 医療費等助成の意義と目標は。
- A 早期受診につながるが、制約や過剰受診による費用増大等、課題が山積み。外部有識者による「松阪市福祉医療費助成負担軽減対策検討委員会」を立ち上げ検討する。

地域医療構想の到達点と課題について

- Q 松阪市民病院の在り方を含む松阪圏域医療体制の整備の考え方は。
- A 地域医療構想では松阪圏域で急性期病床が592床過剰、回復期病床が364床不足とされ、今後の高齢者の増加や人口減少、疾病構造の変化等により、市民病院でシミュレーションすると約6億円の赤字。将来の市民にとってより良い医療体制を築くため「在り方検討委員会」を3回開催。次回11月20日までに方向性を検討、結果を出す。
- Q 介護保険事業への影響と整備の方向は。
- A 将来は病院のベッド数が減り、どうしても在宅で亡くなる方が増える。医師会と連携して在宅医療介護連携拠点を設置し、自宅での医療、看取りも広がるように取り組む。

肝炎の重症化予防対策について

- Q 肝炎ウイルスに感染している人はB型、C型合わせると約300万人に上り、肝がんの原因の80%はB型、C型のウイルス性肝炎です。感染時期が不明確、自覚症状がない、本人が気づかず肝硬変や肝がんへ移行することが問題となっている。肝炎検査を受けて、陽性の方は治療に進み、過去の検査で陽性と知りながら治療に至っていない方にも、治療の必要性や新しい治療法をお知らせすることが必要ではないか。陽性の累計者数と医療機関の受診状況、ウイルス陽性者の受診啓発についてどうされているのか。
- A 平成20年度から28年度までの陽性者数は、累計で、B型肝炎が90人、C型肝炎の可能性が高い方が87人。検診で、委託医療機関で医師が必要と判断した方について、適切な指導、専門医療機関への受診勧奨を行っている。医療現場や県と連携し、肝炎についての正しい知識を広く市民へ啓発、普及を行うように検討をしていきたい。
- Q 過去の検査で陽性にもかかわらず、これまで治療を受けていない方にも改めて治療の必要性や新しい治療方法があることをお知らせすることが重要だと考えるが、市の考えは。
- A 今後広く市民への肝炎の基礎知識の普及啓発、治療の必要性や助成制度についての普及啓発を推進していきたい。

その他の質問事項 ・災害に係る情報発信等について

2月定例会の開催日程

日	月	火	水	木	金	土
2月4日	5	6	7 議会運営 委員会	8 予算説明会	9 予算説明会	10
11	12	13	14 本会議 (当初予算)	15	16	17
18	19	20 本会議 (代表質問)	21	22 本会議 (代表質問)	23	24
25	26 本会議 (代表質問)	27	28 本会議 (代表質問)	3月1日 本会議 (代表質問) (議案質疑)	2 委員会 (環境福祉) (文教経済)	3
4	5 委員会 (総務企画) (建設水道)	6	7 議会運営 委員会	8	9	10
11	12	13	14 本会議 (当初議決) (補正上程)	15 委員会 (環境福祉) (文教経済)	16 委員会 (総務企画) (建設水道)	17
18	19	20	21	22	23 本会議 (補正議決)	24

本会議は市役所3階市議会議場で、委員会は2階市議会委員会室で、いずれも午前10時から開催します。皆さんの傍聴をお待ちしております。

代表 質問

本会議において、会派の代表および会派に所属しない議員が、市長の所信や当初予算などについて、議員ひとりあたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問します。

【例】所属議員3人の会派は、50分×3人＝150分となります。

広報広聴委員会



海住恒幸 橘 大介 山本芳敬 松本一孝
赤塚かおり 松岡恒雄 山本 節 殿村峰代
(委員長) (副委員長)

ご意見の ご紹介

Q 「綴じ穴」があると、家でファイリングするのが楽なのにどうして「綴じ穴」がないの。

A 先進他市の状況や、経費を年間約10万円抑制できることなどを勘案し、「綴じ穴」をリニューアルと同時に無くしました。綴って保管していただいている方にはお手数をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

Q 開き方が以前と逆になったのはなぜ。

A 読みやすくするにはどうするか協議を重ね、横書きを主体としました。従来の開き方では、ページの構成上不都合が生じることから、逆の開き方に変更しています。

お待ちしております
皆さんの
ご意見・ご感想



松阪市議会では、市民の皆さんが議会をより身近に感じられるような「みてんか」をめざし、日々取り組んでいます。

本紙をお読みになり感じたことや疑問点などがありましたら、議会事務局までハガキ、ファックス、Eメール等でお寄せください。

市民の皆さんのご意見やご感想をお待ちしています。

※内容等についてお問い合わせさせていただくことがありますので、住所・名前・年齢・性別・電話番号を明記してください。
※紙面の都合で掲載できない場合がありますので、ご了承ください。